

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成30年3月29日 (2018.3.29)

【公開番号】特開2017-197117(P2017-197117A)

【公開日】平成29年11月2日 (2017.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-042

【出願番号】特願2016-91347(P2016-91347)

【国際特許分類】

B 6 0 R 16/03 (2006.01)

H 0 2 J 7/00 (2006.01)

H 0 2 J 7/02 (2016.01)

H 0 2 J 7/10 (2006.01)

H 0 2 J 7/34 (2006.01)

H 0 2 J 7/14 (2006.01)

【 F I 】

B 6 0 R 16/03 A

B 6 0 R 16/03 J

H 0 2 J 7/00 P

H 0 2 J 7/00 3 0 2 D

H 0 2 J 7/02 J

H 0 2 J 7/10 B

H 0 2 J 7/34 B

H 0 2 J 7/14 E

H 0 2 J 7/14 H

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月15日 (2018.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

第 1 蓄電池 (1 1) と、

第 2 蓄電池 (1 2) と、

前記第 1 蓄電池及び前記第 2 蓄電池を電氣的に接続する接続経路 (L D) に設けられ、閉状態及び開状態のいずれかになることで電氣的な導通及び遮断を切り替える第 1 スイッチ部 (S W 1) と、

前記接続経路において前記第 1 スイッチ部よりも前記第 2 蓄電池側に電氣的に接続された出力部 (1 0 c) を有し、該出力部から発電電力を出力する発電機 (1 0) と、

前記接続経路において前記出力部との接続点 (N) よりも前記第 2 蓄電池側に設けられ、閉状態及び開状態のいずれかになることで電氣的な導通及び遮断を切り替える第 2 スイッチ部 (S W 2) と、を備えるシステムに適用され、

前記第 2 蓄電池が過放電状態であるか否かを判定する判定部 (4 0) と、

前記判定部により前記第 2 蓄電池が過放電状態であると判定されていることを条件として、前記第 1 スイッチ部及び前記第 2 スイッチ部の双方が閉状態とされることを禁止する禁止部 (4 0) と、を備え、

前記判定部により前記第 2 蓄電池が過放電状態であると判定されていることを条件として、前記第 1 スイッチ部を閉状態としてかつ前記第 2 スイッチ部を開状態とする電源制御

装置。